

今年で 40 周年を迎える大学最大級のイベント 武蔵野美術大学芸術祭 2017「ビ×ビット」開催！

武蔵野美術大学（東京都小平市、学長：長澤忠徳）は 2017 年 10 月 27 日（金）～29 日（日）に芸術祭を開催します。

美術大学の中でも国内最大規模の学園祭で、今年で 40 周年を迎えるムサビ芸術祭。近年ではその年ごとにテーマをたて、装飾から広報活動まで、全体の世界観を統一することでイベントの更なるブランド力を形成してきました。来場者は年々増え続け、現在では 3 日間で約 40,000 人を記録する大学の一大イベントです。美大生によるアート作品の展示、個性的なパフォーマンスや手作りの本格雑貨販売など、全ての企画・運営を学生が自主的に行っています。是非、美大生のイベント力を体感してみてください。



【イベント詳細】 武蔵野美術大学 芸術祭 2017「ビ×ビット」

日時：2017 年 10 月 27 日（金）～ 29 日（日）10:00～19:30

場所：東京都小平市小川町 1-736 武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス

入場料：無料

【情報はこらから発信しています】

・芸術祭特設 web サイト：<http://www.geisai.jp>

・Twitter：<https://twitter.com/maugeisai>

・Facebook：<https://www.facebook.com/MAUgeisai>

・instagram：<https://www.instagram.com/maugeisai/>

2017 年のテーマはゲームの世界観「ARTPG」

今年のテーマは「ARTPG」です。これは ART と RPG をかけた造語です。来場者の方に、美しいものを探すゲームをプレイするように、ワクワクしながら芸術祭を楽しんでほしいという思いが込められています。テーマを表すタイトル、『ビ×ビット』は、美術の「美」、ゲームの「ビット」、「ビビットカラー」、「ビビットくる」など色々な捉え方ができるような言葉にしました。その言葉通り、当日はビビットな色とりどりの構内装飾で、ゲームの世界を表現しています。



全国に配布した DM のデザイン。



今年度公式キャラクター

ビビィ（ビビィ・ビビリット）



構内を彩る装飾は、毎年実行委員の学生によって制作されています。現在も鋭意製作中！

芸術祭実行委員会 委員長よりコメント

学生による学生のための発表の場を……と発足した武蔵野美術大学芸術祭も、ファンの皆様や地域の方々に支えられて今年で 40 周年を迎えます。美大生ならではの若くて自由な発想が生み出す作品の数々や、すべてを一から作り出すパフォーマンス、模擬店はもちろん、日本で一番構内装飾にこだわっているのが武蔵美の芸祭。今年度のテーマは昔懐かしいビットで表現されたゲームの世界。パンフレットや構内の装飾、どこを取ってもビットで構成されています。そんな世界観を手がけているのが我々芸術祭実行委員会執行部です。装飾、企画、広報、環境美化から警備まで、すべてを学生が主体となって運営しているのも武蔵美ならではの。美術の可能性、そして日本の未来を担う金の卵たちを見つけに来てはいかがでしょうか。

例年の様子



多くの人で賑わう会場



学生制作の構造物



ライブペイントの様子



400 以上ある学生作品の展示

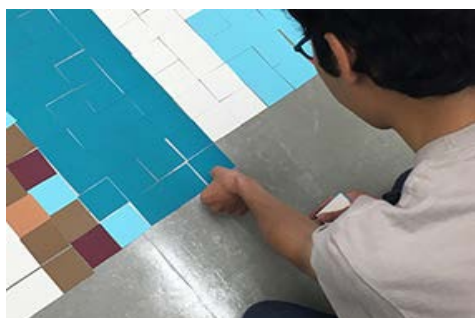


装飾にもこだわった模擬店



本格的な学生制作の雑貨販売

新企画！来場者参加型イベント『ビットアートプロジェクト』



今年度は『ビットアートプロジェクト』という来場者が参加できる巨大モザイクアートを企画しています。来場者みんなで、色画用紙を一マス一マス貼っていくことで、巨大なドット絵を完成させる企画です。構内を回って集めたスタンプの数だけ色画用紙と交換することができ、三日間かけて全てのマス目が埋まると、最終的に一つの大きな作品が現れます。全てのマス目が埋まるまでどんな絵が現れるかわからないドキドキ感、知らない人たちと協力して一つの作品を完成させる一体感はまるでゲームのミッションのよう。ミッションクリアを目指して、ぜひ参加してください！

圧巻の『プロジェクションマッピング』



今年で 4 年目の開催となる美術館壁面を使ったプロジェクションマッピングは、芸術祭を締めくく一大イベントです。今年も武蔵野美術大学の学生が、芸術祭のテーマであるゲームをイメージした映像を制作し、投影します。初めて、全ての制作・企画・運営を本学学生のみで行います。この規模で本学学生のみで開催するプロジェクションマッピングは過去に例がなく、新しい挑戦となります。普段は見ることのできない大規模な映像は圧巻です。

日時：10 月 29 日（日）18:45～19:00

場所：美術館前

その場の雰囲気も描き出す『ライブペイント』



ムサビの芸術祭ではプロのアーティストや美大生が作品を制作している過程を生で観ることができます。筆の動きから、完成したものをみただけでは分からない、意図や思いを感じ取ることができるのもライブならでは！刻々と変化していく作品に、誰もがきっと釘付けになることでしょう。

場所：1号館下

日時：全日 10:00～19:00



今年度のゲスト（上段左から）

27日（金）小玉真実（視覚伝達デザイン学科2年）

28日（土）飯島まり子（油絵学科4年）

29日（日）はしのちづこ（イラストレーター）

東北の美術大学卒業。卒業後はデザインフェスタを中心に手を繋いだお相撲さんのライブペイントをしている。現在白泉社メロディにて漫画を連載中。

美大生の展示 No.1 を決めろ！『展示大賞』

応募作品の中から優れた作品を選び、表彰する企画です。学生参加者が作家やデザイナーなど、プロの方に講評してもらう機会を作ることを目的としています。展示大賞に応募した数ある展示企画から、事前にゲスト審査員によるポートフォリオの選考で10企画が選出されています。芸術祭最終日、一般公開した状態でその10企画の作品をゲストの方に講評してもらいます。美大の普段の授業風景を一般来場者の方に疑似体験してもらえる、絶好の機会です。

公開講評会

日時：10月29日（日）12:30～15:45（終了予定）

開場15分前から。11時頃より整理券の配布を行います。

場所：1号館103教室

今年度のゲスト審査員

千住博氏

（画家 / 京都造形芸術大学教授）

永井一史氏

（アートディレクター / 多摩美術大学教授）

長澤忠徳氏

（武蔵野美術大学学長）

「Let's ENJOY TOKYO 学園祭グランプリ 2017」エントリー中！

「学園祭グランプリ」とは、レッツエンジョイ東京（東京地下鉄株式会社と株式会社ぐるなびの共同運営）にて2009年より主催している、首都圏の秋の大学祭 NO.1 を決めるコンテストです。例年、他校の学園祭にはない美大ならではの取り組みが高い評価を受けています。2015年には100を超えるエントリー校の中から、見事総合2位にランクインしました。



ゲームをイメージした今年のPR動画は

youtubeにて公開中！

動画はこちらから

<https://www.youtube.com/watch?v=ZrGShvNFII&app=desktop>